

みんな違うから大切にしたい いのちを守る防災 ～ムリ・ムダのない防災～

伝えるポイント！
・東日本大震災の時が起っていたのか
・ムリとムダのない防災

2月8日(水) 13:30～14:00 小学校5, 6年生
2月13日(月) 11:00～11:30 中学生

吉田千春

よしだちはる

気仙沼おとひめ会代表。1990年ごろから地域に引きこもり、不登校の子どもたちが増えたことにより、2004年から気仙沼市を中心にいのちを守る活動、自殺防止の活動、地域の美化活動、女性活動をスタート。東日本大震災後は、女性の手仕事支援、高齢化した地域の自治組織の中で防災減災の活動を展開。地区防災計画を作成し「ムリ・ムダのない防災」をめざして活動中。



津波と原発事故の 経験から未来へ

伝えるポイント！
・津波の被害と原子力災害
・発見までの5年9か月

1月17日(火) 11:00～11:30 小学校5, 6年生
3月2日(木) 14:30～15:30 高校生

木村紀夫

きむらのりお

1965年、福島県大熊町生まれ。東日本大震災の津波で家族3人を亡くし、更に原発事故によって捜索が阻まれる。次女汐風(ゆうな)の遺骨発見までに5年9か月を要し、いまだその8割は見つかっていない。そんな経験から「防災」と「豊かさへの疑問」について考える伝承が続いている。大熊未来塾代表



あいりちゃんからの 命のメッセージ

伝えるポイント！
・母の悲しみ
・何気ない日常の大切さ

1月16日(月) 11:00～11:30 小学校3, 4年生
1月16日(月) 13:30～14:00 小学校3, 4年生

佐藤美香

さとうみか

2006年に転動で石巻市へ引っ越し、震災の時は自宅で次女(3歳)と過ごしている時だった。長女(6歳)は高台(日和山)の私立幼稚園にいたため安心していたが、その管理下で犠牲に。震災後は、「日和幼稚園遺族有志の会」を立ち上げ全国への発信を続けている。昨年から紙芝居「あいりちゃんからの命のメッセージ」を使った伝承活動を開始。2017年に書籍「ふたりのせかいりょうこう」を出版



「命ってなんだろう？」

伝えるポイント！
・震災3日後にたどり着いた故郷の状況
・「明日が来る」のは奇跡だということ
・今を大切に生きていくこと

2月24日(金) 13:30～14:30 小学校5, 6年生
2月15日(水) 14:30～15:00 高校生

高橋匡美

たかはしきょうみ

震災で、生まれ故郷である石巻市南浜町一帯、実家、そしてそこで暮らしていた両親を亡くす。その心の傷から自宅に籠る日々が続いたが、2014年自分の経験や心の内を「メモリースピーチコンテスト」で語り、全国大会で銀賞を受賞。現在「命のかたりべ」として、「今」を生きる大切さを伝えていく。活動の様子はFacebook「命のかたりべ」にて報告。



小・中学生にできること、 やるべきこと

伝えるポイント！
・災害が起きる前にできる備え
・自分の命を守るためにできること
・防災教育を受ける側の視点から見た防災教育の重要性

2月21日(火) 11:00～12:00 小学校3, 4年生
2月13日(月) 13:30～14:00 中学生

菊池のどか

きくちのどか

釜石東中学校2年生の時に、防災担当の整美委員長となる。3年生の3月11日に東日本大震災が発生し、隣接する小学校の児童とともに避難する。その経験をもとに、2019年4月より、いのちをつなぐ未来館職員として語り部・ガイドを行う。2021年5月には誰でもわかる・取り組むことができる防災教育の推進を目指し、神戸出身の2人の仲間とともに株式会社8kurasuを立ち上げ、現在はフリーランスとして活動中。



今、自分にできること

伝えるポイント！
・震災当時の状況
・地震の時に考えていたこと
・震災から現在までのこと

3月7日(火) 11:00～12:00 中学生
3月2日(木) 16:00～17:00 高校生

武山ひかる

たけやまひかる

震災時は小学校4年生(現在大学4年)。地震後、家族と車で高台に避難したが、寒さのため自宅に戻ろうとしてしまい危険な状況に。自宅は全壊したため避難所から小学校に通った。震災後、多くの人が辛い思いをしたことを知り「事前に知識があれば」という思いと共に、あの時の子どもたちの気持ちも伝えている。2021年、震災関連の絵本「ひとりじゃない」を出版し、現在は電子書籍にて販売中。



今までの10年から 次の10年へ

伝えるポイント！
・みんなのために自分ができること
・自分の目で確かめてほしい震災の学び
・人をたいせつに。命をたいせつに

2月2日(木) 13:30～14:00 小学校3, 4年生
1月17日(火) 13:30～14:00 小学校5, 6年生

伊藤俊

いとうしゅん

宮城県南三陸町で「震災を風化させないための語り部バス」のガイドや、講演なども含め、語り部活動は約10年間で2000回を超えた。災害の経験だけでなく、地域活性化や地域の課題についても情報発信に取り組み、「誰もが語り部」を目標に未来へ生かす言葉を贈り続けている。



社会人になる前に、 知っておきたいこと！

伝えるポイント！
・息子のいのちからの学び(企業・組織防災)
・いのちが一番、人生の歩み方

1月27日(金) 14:30～15:00 高校生
1月27日(金) 16:00～16:30 高校生

田村孝行

たむらたかゆき

東日本大震災の津波により、銀行という企業管理下で当時25歳の息子を亡くした。いのちの大切さや、安全な社会に向けてどうあるべきか、息子・健太より多くの事を学んだ。この学びを次世代へ繋げるために、いのちを守る防災講演(企業・組織防災)・いのちの学習の講演をし、命のバトンを渡す活動を続けている。



東日本大震災発生から 学校再開までの歩み

伝えるポイント！
・3.11にあったこと
・避難所運営と学校再開までの歩み
・震災の経験から思ったこと

1月25日(水) 11:00～11:30 中学生
3月7日(火) 13:30～14:30 中学生

三浦浩

みうらひろし

震災時は、石巻市東部の海から100m程のところにある渡波(わたの は)中学校の教頭だった。3月11日は午前中に卒業式があり、午後はほとんどの生徒が下校していたが、地域の避難所になっていたので住民が学校に避難してきた。地震発生から約50分後、海からの津波に襲われ、校舎2階まで浸水した。被災後、避難所の運営や学校再開に向けて奔走した。現在、語り部として活動している。



小学校 しくじり先生の被災体験 高校生 伝えるむずかしさ

小学校 伝えるポイント！
・とにかく逃げる
・地域のことを知っておく

高校生 伝えるポイント！
・被災者になにを聞いて、どう報道するべきだろうか
・災害をどう伝えればいいだろうか

2月24日(金) 11:00～12:00 小学校5, 6年生
2月15日(水) 16:00～16:30 高校生

阿部任

あべじん

震災時は高校一年生。石巻市門脇町の実家で祖母と2人の時だった。裏山に避難せず2階にいたところ、家ごと津波に流され9日後に救出された。判断を誤り、多くの人に迷惑をかけてしまった後悔と、メディアでは奇跡の救出として報じられたことによる世間とのギャップに悩んだ経験を語る。



あなたの思う“大切”は なんですか。

伝えるポイント！
・小学生から見た3.11
・震災いじめ
・私のマイプロジェクト(探究学習)

2月8日(水) 11:00～11:30 小学校5, 6年生
1月25日(水) 13:30～14:00 中学生

三浦七海

みうらなみ

名取市の閑上地区出身。5年生のときに、被災し自宅が全壊流失。その後、内陸の中学校では「支援物資をもらってずるい」など“震災いじめ”にあう。ある時、ボランティアをしていた高校生と出会ったことで、中学3年生から語り部を始める。高校生マイプロジェクトアワード2017では全国1位を受賞。語り部では経験談だけでなく、自然の楽しさや、自分の思う“大切”から、減災を考えるきっかけづくりなどを伝えている。



災害から命を守るために 知って欲しいこと

伝えるポイント！
・住んでいた石巻市大川小周辺の被災状況
・震災直後の息子の避難行動

2月2日(木) 11:00～11:30 小学校3, 4年生
2月21日(火) 13:30～14:30 小学校3, 4年生

高橋正子

たかはししょうこ

震災当時、海に近い自宅には高校生の息子と義理の母がいた。大津波警報が防災無線から聞こえるなか、家族とは連絡が取れず、道路は寸断され自宅に戻ることはできなかった。翌日、地区全体が津波に襲われ自宅も含め流出したことを知る。2016年より伝承活動に携わり、昨年から地区の裏山に逃げた息子の様子を絵本「なべになった鐘」より紙芝居にして紹介している。



選べる2つのプログラム

30分 授業で取り入れやすいコンパクトな内容



60分 みんなで一緒に気づき・考えを深め合おう！



※各校内での話し合い(20分)「自分たちの地域で災害が起きたらどうすればいいだろう？」

語り部LIVE日程

小学校3, 4年生

30分	1月16日(月)	2月2日(木)
11:00～11:30	佐藤美香	高橋正子
13:30～14:00	佐藤美香	伊藤俊
60分	2月21日(火)	
11:00～12:00	菊池のどか	
13:30～14:30	高橋正子	

小学校5, 6年生

30分	1月17日(火)	2月8日(水)
11:00～11:30	木村紀夫	三浦七海
13:30～14:00	伊藤俊	吉田千春
60分	2月24日(金)	
11:00～12:00	阿部任	
13:30～14:30	高橋匡美	

中学生

30分	1月25日(水)	2月13日(月)
11:00～11:30	三浦浩	吉田千春
13:30～14:00	三浦七海	菊池のどか
60分	3月7日(火)	
11:00～12:00	武山ひかる	
13:30～14:30	三浦浩	

高校生

30分	1月27日(金)	2月15日(水)
14:30～15:00	田村孝行	高橋匡美
16:00～16:30	田村孝行	阿部任
60分	3月2日(木)	
14:30～15:30	木村紀夫	
16:00～17:00	武山ひかる	

Q&A

Q. いろいろな語り部さんのお話が聞きたいです。複数の日程で視聴してもよいですか。

A. 視聴可能です。

Q. 対象の日程に参加できません。

A. 例えば、小学校であっても中学校の日程に参加いただくことも可能です。対象別に言葉遣いを変えていますので、その点はご了承ください。

Q. 録画視聴はできますか。

A. 語り部さんの意向により、録画配信は行っていません。(第三者にお話の一部分が切り取られて引用されるのを防ぐためです)生配信での参加のみ受付となりますので、予めご了承ください。

Q. ZOOMのアプリがないと視聴できませんか。

A. ブラウザからも視聴いただけますが、接続が不安定になる場合にはアプリでの視聴をおすすめします。

Q. 当日接続がうまくできるか不安です。

A. 参加校にメールでお送りするURLに正しくアクセスいただくと、〇月▲日□:□～開催予定ですという表示が画面上に出てきます。また、当日の配信30分前から入室可能としていますので、早めの接続確認が安心です。

Q. 参加中、自校だけ音声が聞こえませんか…

A. インターネット通信の安定している環境での視聴、ZOOM上の音声に関する設定をご確認ください。開始前にアナウンスを行いますので、その声が届いているかご確認ください。

Q. 当日注意することはありますか。

A. 子どもたちの様子が語り部さんに見えるように配信中はカメラをオンにしてください。また、雑音が入らないようマイクはミュートにしてください。

お申込みはMicrosoftFormsから受け付けます！(入力が出来ない場合にはお問合せください)

<https://forms.office.com/r/uT1cLAYaVC>



多くの学校にご参加いただけるよう、
回線減のご相談をさせていただく場合がございます。

30分: 各回につき先着90回線まで
60分: 各回につき先着90回線まで

※目安: 1クラスにつき
1台のパソコン=1回線



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

宮城県支部

Facebook: <https://www.facebook.com/redcrossmiyagi>

住 所 〒981-0914 宮城県仙台市青葉区堤通南宮町4-17

電 話 022-271-2252 FAX 022-275-3004

URL: <https://www.jrc.or.jp/chapter/miyagi/>

